

# 第16期事業報告書

(2022年10月～2023年9月)

一般社団法人JEAN

## 1. 海洋ごみ問題に関わる情報の収集及び発信

(1) マスメディア等からの取材または照会に応じた。

(2) 活動及び海洋ごみ問題について広く知ってもらうため、ウェブサイトを選宜、更新した。

(3) 団体の公式フェイスブックページと、海洋ごみに繋がる情報のフェイスブックページ「海ごみプラットフォームJAPAN(MalipJAPAN)」を運営した。

(4) 機関紙「美しい海をこどもたちへ」の編集・発行

サポーター、各地のクリーンアップキャプテン(クリーンアップ会場運営者)及び関係者を対象に、海洋ごみに関する情報を掲載した機関紙「美しい海をこどもたちへ」を1回発行した。

57号(2022年12月発行、A4版4ページ)

(5) 講演等の案内を、選宜メール等で関係者に行った。

(6) その他

国内各地の行政、民間企業、NPO等(個人を含む)との情報交換に対応した。

## 2. 海洋ごみ問題に係る調査研究

(1) 自主調査

① 日本における「International Coastal Cleanup(略称 ICC)／日本語名:国際海岸クリーンアップ」の主催

ナショナルコーディネーターとして、9月と10月に世界100以上の国と地域で一斉に行われるInternational Coastal Cleanup(ICC)への日本国内での参加呼びかけを行った。参加団体から寄せられた結果は、日本のICCデータとしてとりまとめ、2月初めに主宰団体であるオーシャン・コンサーバンシー(アメリカ)に共有した。

② 「ICCデータカードを使った調べるクリーンアップ」の推進

日本における、海洋など水辺のごみの実態を年間で把握するために、通年でICCデータカードを使った調査への参加を呼びかけた。寄せられた結果はデータベースに登録、基礎データとして継続的に蓄積している。

## 3. 海洋ごみ問題に関する啓発及び国際協力

(1) クリーンアップキャンペーンの展開

海洋などのごみの実態把握を兼ねた海洋ごみ問題の啓発活動の一環として、ICCデータカー

ドを使った調べるクリーンアップを取り入れたキャンペーンを通年で展開し、参加の呼びかけを行なった。寄せられた実施予定はウェブサイトで紹介し、結果についてはデータベースに登録・蓄積するとともに、公開可能な情報についてはウェブサイトで開催を行なった。

春(アースデイ)と秋(国際海岸クリーンアップ)はそれぞれ集中キャンペーンとして位置付ける。今期は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う移動自粛などの制限要請がなくなり、活動は徐々に復調している。

①2022年のキャンペーン(対象期間:10~12月)

目的:海洋などのごみの回収および調査

会場数:170会場(うち、対象期間10月の国際海岸クリーンアップ70会場)

②2023年のキャンペーン(対象期間:1~9月)

目的:海洋などのごみの回収および調査

会場数:集計中(うち、対象期間9月の国際海岸クリーンアップ会場数集計中)

③データベースの運用

調査データをデータベースに登録し、蓄積作業を継続している。

## (2)啓発用展示物の貸し出し

①海洋ごみ問題の現状等を認識してもらうため、5種類の展示物を貸し出し、広報活動を行った。

写真パネル「みんなの問題海のごみ」A1アルミフレーム型、A1ロール型、A3ラミネート型、「美しい海を子どもたちへー東日本大震災に起因した漂流物と海ごみ問題ー」A1アルミフレーム型、「新たな海洋汚染マイクロプラスチック」A3ラミネート型

貸出件数:23件 展示日数 252日

②「漂着物のトランク・ミュージアム®」は、トランク本体の傷みのため貸し出し停止中。

全面的な作り直しを予定しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため出張を控えていたことから、漂着物収集が実施できていない。

## (3)国際的な知見共有等

2022年9月~10月に実施された国際海岸クリーンアップの結果を取りまとめ、2023年2月、International Coastal Cleanup(ICC)の主宰団体であるオーシャン・コンサーバンシー(アメリカ)に国際データとして共有した。

## (4)講演・研修指導等

以下のとおり、海洋ごみ問題について講演及び研修指導等を行った。

10/3~4 高知県黒潮町で海ごみ講座(講演、ワークショップ、ごみ調査指導)

10/9 鹿児島市・南さつま市で第1回「宝物探しと漂着物アート」ワークショップ

10/12 狭山市消費生活講座で講演

10/18 [世論時報]誌インタビュー(12月号に掲載)

10/22 気仙沼海ごみゼロプロジェクトで講演

10/22 福岡県宗像市でシンポジウム「漂着物学会と石井忠先生」出席

10/25 大分県中津市で「瀬戸内海のごみの現状と対策について」講演

10/26 都立永福学園高等学校就業支援科で海ごみ講座  
 10/29 ブライトリングジャパン Club Breitling Beach Cleanup 宮城県で講演とごみ調査指導  
 10/29 鹿児島市で 第2回「プラスチックごみ回収と分析」ワークショップ  
 11/5 香川県クリーンアップリーダー養成講座で講演とごみ調査指導  
 11/5 鹿児島市で 第3回「清掃船の見学と水族館バックヤードツアー」ワークショップ  
 11/6 ロート製薬 GO FOR NEXT プロジェクトオンラインセミナーで講演  
 11/13 大阪府でロート製薬 GO FOR NEXT プロジェクトビーチクリーンアップ ICC 調査指導  
 11/26 鹿児島市で海ごみゼロ！ナイトアクアリウム シンポジウムにパネリストとして出席  
 12/3 対馬市で 2022 日韓ビーチクリーンアップワークショップ講演  
 12/17 鹿児島・宮崎ロータリークラブシンポジウムにパネリストとして出席  
 1/18 気仙沼市立九条小学校で講演(オンライン)  
 1/28 東京都で川ごみサミット出席  
 2/2 霧島市で「海洋プラスチックごみ問題について考える」講演  
 2/17 JBIB 海洋プラスチックレクチャーで講演とワークショップ(オンライン併用)  
 3/4 (公財)かながわ海岸美化財団 オンライン交流会で講演  
 3/12 沖縄県オンラインワークショップ出席  
 3/12 薩摩川内市シンポジウム「海洋プラスチックごみ問題について考える」出席  
 3/17 JBIB 調べるクリーンアップ 大田区でレクチャーとごみ調査指導  
 3/25 RI2730 地区宮崎県ロータリー奉仕 DAY で ICC 調査手法指導  
 4/13 イトヨーカドー労働組合第 10 回執行委員会 講演  
 4/22 RI2730 地区鹿児島市内 A・B グループロータリー奉仕 DAY で ICC 調査手法指導  
 4/23 藤沢市鵜沼海岸でのクリーンアップ実施  
 5/25 山口市で「瀬戸内海のごみの現状と対策について」講演  
 6/16 国土交通大学校 海岸研修で講義  
 7/4 (公社)食品容器環境美化協会 博多ブロック会議で講演  
 7/5 ラッシュジャパン(合) 社内ラーニングハブで講演  
 7/10 (株)J-オイルミルズで講演  
 7/19 (公社)食品容器環境美化協会 大阪ブロック会議で講演  
 8/1 (公社)食品容器環境美化協会 東京ブロック会議で講演  
 8/27 海ごみゼロ大作戦 in 周防大島で「みんなの問題・海のごみ」講演とワークショップ

#### 4. 政策提案

(1) 海洋ごみ問題への理解推進を図るため、今後のプラスチックに係る資源循環の促進等について市民団体のネットワークを通じ意見表明等を行った。

#### 5. 附帯又は関連する事業

##### (1) 専門会、委員等

以下の会議等に出席し、情報収集及び提案等を行った。

- ・公益社団法人食品容器環境美化協会主催 環境美化教育優良校等表彰審査委員会
- ・沖縄県海岸漂着物対策推進協議会 委員

- ・同上 ワーキンググループ 構成員
- ・長崎県対馬市海岸漂着物対策推進協議会 委員
- ・公益財団法人日本自然保護協会評議員
- ・全国川ごみネットワーク 理事

## 6. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 出版社等からの要望により、海洋ごみ問題に関する画像を、有料で貸し出した。

(2) 資料(「海辺のカルテ」、「海辺のカルテ 漂着物ワークブックこども用」映像資料「ゴミ箱になった海」、映像資料「人工の海」)を、継続して販売した。

### (3) 受託事業、助成活動等

海ごみ講座以外の受託事業の実施はなかった。

助成活動については、申請受付期間中は新型コロナウイルスの影響が懸念される状況であったことから申請を見送った。

### (4) その他

個人、団体、企業、学校等から、海洋ごみ問題(特にプラスチックによる海洋汚染)についての問い合わせや、クリーンアップ等への参加相談が多数寄せられ、資料送付や相談への対応を適宜行った。

以上